

1

事業名	令和5年度医療提供施設等の施設の運営等
根拠法令等	医療提供体制推進事業費補助金交付要綱

2

	事業計画				実施状況					実施結果	評価
	事業分類	事業区分	事業の目的	施設の名称又は事業の委託先	事業の支出状況(単位:千円)				事業の進捗状況		
					国費	県費	事業者	合計			
1	救急医療対策事業	小児救命救急センター運営事業	小児救命救急センターの運営を支援することにより、重篤な小児救急患者の医療の確保を図る。	四国こどもとおとなの医療センター	44,488	-	93,682	138,170	100%	小児救命救急センターに対し、その運営に必要な経費を補助した。 ・小児救命救急センター運用病床10床 ・小児集中治療室専用病床8床	県内全域の小児救急患者を、診療科領域を問わず24時間体制で受入れることで、小児救急医療の充実が図られた。
2	〃	ドクターヘリ導入促進事業	基地病院や消防機関等と連携して、ドクターヘリを運航することにより、救急医療・災害医療の充実・高度化を図る。	香川県、香川大学医学部附属病院、香川県立中央病院	113,095	114,585	9,998	237,678	100%	基地病院、消防機関等と連携して、ドクターヘリを運航した。 令和5年度は、現場救急が184件、施設間搬送が136件であった。	島嶼部からの搬送に多く活用されているほか、重症患者を、医師が現場で救命処置を施すとともに医療機関まで迅速に搬送することで、本県の救急医療に有効に活用されている。
3	〃	救急救命士病院実習受入促進事業	医療機関において、救急救命士の資格を有する救急隊員の行う心肺蘇生等の救急救命処置の実習を行うための体制整備を促進することにより、資格を有する救急隊員の業務の高度化と資質の向上を図る。	四国こどもとおとなの医療センター、回生病院、香川労災病院	962	962	1,468	3,392	100%	気管挿管・就業前教育の実習を行った。	様々な実習を行うことにより救急救命士の技術の向上が図られた。
4	〃	救急医療情報センター(広域災害・救急医療情報システム)運営事業	救急医療の関係機関をネットワーク化し、必要な情報の収集・提供を実施する。	(株)NTTデータ	6,140	18,202	-	24,342	100%	各消防機関に計53台の携帯端末を配布し、救急搬送時に、他の救急搬送の状況を確認できるよう整備に努めた。また、医療機関側で事前に傷病者情報を確認できるよう整備に努めた。	スマートフォン等の活用により、傷病者の迅速な救急搬送や円滑な治療が図られた。

	事業計画				実施状況					実施結果	評価
	事業分類	事業区分	事業の目的	施設の名称又は事業の委託先	事業の支出状況(単位;千円)				事業の進捗状況		
					国費	県費	事業者	合計			
5	救急医療対策事業	救急患者退院コーディネーター事業	急性期を脱した救急患者の円滑な転床・転院を促進する。	回生病院、高松赤十字病院、香川県立白鳥病院、香川県立中央病院、高松市立みんなの病院、香川労災病院、香川大学医学部附属病院	15,928	-	104,597	120,525	100%	地域の実情に精通した救急患者退院コーディネーターを配置し、急性期を脱した救急患者の転床・転院を円滑に行った。 令和5年度は、転床8,127人、転院339人であった。	病院内外の調整を行い、救急医療用病床の有効化が図られた。
6	周産期医療対策事業等	周産期医療対策事業	妊娠、出産から新生児に至る高度専門的な医療を効果的に提供する。	香川県	545	1,490	-	2,035	100%	総合周産期母子医療センターにおいて地域従事者研修会を開催する等体制整備に努めた。	総合周産期母子医療センターと地域医療機関等との連携が図られ、周産期の患者に対する適切な医療の提供が行われた。
7	〃	周産期母子医療センター運営事業	周産期母子医療センターの運営を支援することにより、妊娠、出産から新生児に至る高度専門的な医療を効果的に提供する。	香川大学医学部附属病院、四国こどもとおとなの医療センター、高松赤十字病院	25,309	-	186,371	211,680	100%	周産期母子医療センターの運営を支援し、妊娠、出産から新生児に至る高度専門的な医療を効果的に提供した。	周産期母子医療センターの安定した運営に寄与し、周産期母子医療センターを中心とした周産期医療体制の整備が図られた。
8	〃	NICU等長期入院児支援事業	重症患児の在宅療養支援を行うことにより、NICU等長期入院患児の早期退院、在宅療養を支援する。	四国こどもとおとなの医療センター、香川大学医学部附属病院	5,696	-	26,513	32,209	100%	前年度に引き続き重症患児のための乳幼児レスパイト事業を実施した。 ・専用病床を2床確保 ・利用日数延71日	重症患児の在宅療養体制を整備することにより、長期入院傾向にあるNICU等入院患児の早期退院支援が図られた。
9	看護職員確保対策事業	助産師活用推進事業	助産師就業の偏在把握や助産師出向の検討等を行い、助産師就業の偏在解消、助産実践能力の向上及び強化等を図る。	(公社)香川県看護協会	1,578	-	-	1,578	100%	事業の運営・企画を実施するための協議会を2回開催。コーディネーターによる施設間のマッチング・調整等を実施し、助産師の出向・受け入れを行った。 ・出向元医療機関:2か所 ・出向先医療機関:2か所 また、助産師実践能力向上のため、研修会(1回)開催するとともに香川県看護協会広報誌かがわ看護だよりで事業紹介を行った。	協議会による検討や助産師出向に関する意向調査等の実施により、事業実施医療機関の連携強化が図られた。 また、助産師出向を希望する医療機関の求めに応じ、出向期間が延長しており、地域偏在がみられる産科医療機関のニーズへの対応が図られた。

	事業計画				実施状況					実施結果	評価
	事業分類	事業区分	事業の目的	施設の名称又は事業の委託先	事業の支出状況(単位;千円)				事業の進捗状況		
					国費	県費	事業者	合計			
10	地域医療対策事業	医療連携体制推進事業	主要事業(急性心筋梗塞、脳卒中)の医療連携体制を構築する。	香川県、高松・東讃地域シームレスケア研究会	353	354	-	707	100%	急性心筋梗塞医療連携バスに係る周知・啓発等を行った。 また、脳卒中診療に関わる多職種を対象とした研究会を開催した。	急性心筋梗塞患者や脳卒中患者に係る予防から在宅までの医療連携体制の向上が図られた。
11	医療提供体制設備整備事業	病院群輪番制病院及び共同利用型病院設備整備事業	病院群輪番制に参加している病院等に係る設備整備への補助を行う。	KKR高松病院、滝宮総合病院	9,628	9,628	16,483	35,739	100%	KKR高松病院及び滝宮総合病院が、超音波画像診断装置等の医療機器及び心電図受信装置を整備するための補助を行った。	病院群輪番制参加病院に係る機器整備が図られた。
12	〃	航空搬送拠点臨時医療施設設備整備事業	大規模災害時において高松空港に設置予定のSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)に必要な資機材を整備する。	香川県	840	842	-	1,682	100%	毎年実施している機器の定期メンテナンスの結果、不具合のあった機器の更新を行った。	引き続き機器の定期メンテナンス等を実施し、必要に応じSCU資機材の更新を実施する。
13	〃	医療施設非常用通信設備整備事業	災害時に傷病者等の受入れの中心となる医療機関が非常用通信設備を整備するために必要な経費への補助を行う。	回生病院	88	-	287	375	100%	回生病院が、トランシーバーを整備するための補助を行った。	災害時の通信設備の整備が図られた。

1	事業名	令和5年度医療提供施設等の整備
	根拠法令等	医療提供体制施設整備交付金交付要綱

2	事業計画				実施状況				事業の進捗状況	実施結果	評価
	事業分類	事業区分	事業の目的	施設の名称又は事業の委託先	事業の支出状況(千円)						
					国費	県費	事業者	合計			
1	医療計画等の推進に関する事業	医療施設近代化施設整備事業	医療施設における患者の療養環境、医療従事者の職場環境、衛生環境の改善を図るため、医療機関が行う施設整備事業に要する経費に対して補助する。	いわき病院	213,100	-	1,321,290	1,534,390	99%	令和4年度から令和5年度までの2か年で事業を実施。病棟の建替えを補助した。	患者の療養環境、医療従事者の職場環境、衛生環境の改善が図られた。
2	〃	地域拠点歯科診療所施設整備事業	安全・安心な障害者歯科医療を提供するため、歯科診療所の施設整備を図る。	高松歯科診療所	769	-	803	1,572	100%	電圧を変換し、設備を安定的かつ効率的に使用するための受電設備が老朽化しており、更新を補助した。	変圧器やコンデンサ等のうち、特に早急に対応が求められていた箇所の更新を行うことができた。
3	【令和4年度からの繰越分】 医療計画等の推進に関する事業	地域災害拠点病院施設整備事業	災害医療支援機能を有し、24時間対応可能な救急体制を確保する災害拠点病院として、必要な施設の整備に対して補助し、災害時の医療を確保する。	高松赤十字病院、回生病院	36,856	-	142,202	179,058	97%	高松赤十字病院の非常用自家発電設備(2か年事業)の更新を補助した。回生病院が、ヘリポートの改修を検討していたが、令和5年度中の完了が困難となったため、実施を見送った。	災害拠点病院として、必要な施設が整備され、災害時の医療の確保が図られた。